本報告書をお読みいただきありがとうございます。
ご意見・ご質問等がございましたら弊社までお気軽にご連絡下さい。

株式会社　大 協　ISO事務局　宛
e-mail：info@d-aikyo.co.jp　TEL：072-771-0339　FAX：072-771-0364

REVACS GROUP

株式会社　大 協
http://www.d-aikyo.co.jp/

環境報告書 2014

Sustainability Report

DAIKYO

地球環境の保全、循環型社会の構築に貢献します。

代表者メッセージ

Message from the President

株式会社大協は、昭和37年より伊丹市を中心に、市民の皆様が快適に過ごせる生活環境づくり、ごみの適正処理、減量及び有効活用のお手伝いを行ってまいりました。

廃棄物処理業を通じての環境保全はもちろん、4年目を迎えたグリストラップ清掃事業は、少しずつではございますが、業績が上がっております。これはお客様の衛生、環境への意識が年々高くなっていることを証明しており、弊社の役割、責任の大きさを感じております。

また弊社は、「お客様への貢献」「社会への貢献」「パートナーへの貢献」を企業理念として掲げ、常に真摯で誠実な企業であり続けることを目指しており、日常の事業活動だけでなく、様々な情報が溢れている今日でも、ごみを処理することに関して、本当に安心・信頼できる情報を、お客様や地域の皆様にご提供し続けることが、弊社の使命であると考えております。

さらに、地域の皆様との交流を積極的に行なうなど、社会貢献活動にも取り組んでおります。その一つとして今年も環境報告書を作成し、「大協の取り組みを知っていただくこと」「身近に感じていただくこと」を目的とした内容を掲載しております。

是非ご一読の上、忌憚のないご意見を頂ければ幸いでございます。

代表取締役社長　森下 和尚

Contents

001 代表者メッセージ

002 環境報告書の対象範囲

003 経営理念
・使命(Mission)　・3つの貢献(Principle)
環境方針

004 会社概要

005 事業活動
・グリストラップ清掃部門
・廃棄物処理部門

007 環境負荷の低減
・2013年度省エネルギー活動の結果
・廃棄物計量システムの活用

009 環境マネジメント
・ISO14001取得(環境マネジメントシステム)
・環境管理推進体制

010 各種展示会への出展
・第5回 関西店舗環境改善展
・第3回 店舗環境改善展
・エコプロダクツ2013
・HCJ2014 第14回厨房設備機器展

011 情報開示
・優良産廃処理業者認定制度への適合

012 事故・苦情

013 環境活動にかかわる教育・訓練および環境監査
・安全運転教育
・アルコールチェッカー
・ドライブレコーダー
・環境一般教育
・資格の取得
・緊急事態対応訓練の実施
・外部監査

017 コミュニケーション
・社員と家族のコミュニケーション
・ソフトボール大会への参加
・環境教育のお手伝い
・清掃活動
・インターンシップ
・社員表彰
・セーリングチーム

・大協マガジン(メルマガ)の発行
・いたみ災害レポート登録制度
・東日本大震災復興支援クレジット
・環境報告書の発刊および環境配慮への取り組み

022 編集後記

環境報告書の対象範囲

対象期間:2013年度(2013年4月～2014年3月)
対象組織:株式会社　大協
報告範囲:弊社事業所における一年間の環境活動に関する報告

経営理念

MANAGEMENT CONCEPT.01

使命 Mission

全てのステークホルダーから
安心･信頼される事業運営を通じて、
パートナー、お客様、社会の利益と
繁栄に貢献すると共に、持続可能な
社会の構築を目指します。

＊パートナー:社員並びに
従業員等弊社のお客様のために
一緒に働く全ての人たち

大協の
3つの貢献

MANAGEMENT CONCEPT.02

3つの貢献 Principle

弊社が掲げる経営理念から「3つの貢献」をご紹介します。

「パートナー」への貢献

パートナーが仕事にやりがいを持ち、自己の価値観を実現し、実り豊かな人生を享受するため、事業で得た利益を還元します。そのためには多様なメンバーが存在する価値を認め、安心して働ける職場づくり、事業運営を行うと共に、パートナーの成長が絶対に必要であることを認識し、“学びの機会”と“活躍の機会”を提供します。

「お客様」への貢献

お客様へ常に公正で利益あるサービスを提供するために、ハード（車両･機材）とソフト（パートナー）の組み合わせによる最適なビジネスモデルを確立します。

「社会」への貢献

事業が社会に与える責任と担える責任を自覚し、持続可能な社会の構築の一翼を担う企業市民として社会に必要とされ、社会に信頼される活動を常に心掛けます。

環境方針

当社は、一般廃棄物並びに産業廃棄物の収集運搬、および清掃作業といった事業活動を行っていることを認識し、私達が配慮ある行動をすることによって、地球環境の保全並びに循環型社会の構築に貢献します。

01 環境法規制及び当社が認めたその他の要求事項を遵守し、廃棄物の適正処理に努めます。

02 地球温暖化･大気汚染の防止の為に、エネルギーの削減に努めエコドライブを推進し、排ガスによる環境負荷の低減に努めます。

03 廃棄物の再利用･再資源化などの提案を通じて、資源の有効活用を図り社会に貢献します。

04 地域清掃やボランティアに積極的に参加をし、地域社会とのコミュニケーションを図りながら環境維持に取り組みます。

05 全ての社員が本方針を理解し、環境マネジメントシステムを構築し、環境負荷の低減活動を積極的に行える様、
目的･目標を定め、定期的に見直しを行い継続的に改善を図ります。

06 環境方針は、当社で働く又は当社のために働く全ての人に周知します。また、外部からの要求に応じて開示します。

2014年4月1日
代表取締役社長 森下 和尚

会社概要

会社名	株式会社　大協
所在地	〒664−0837　兵庫県伊丹市北河原5丁目3番31号
設立	1976年12月14日
代表	代表取締役社長　森下 和尚
資本金	600万円
従業員数	41名（2014年3月31日現在）
事業内容	･グリストラップ清掃　･排管詰まり除去作業　･排管洗浄作業　･ピット清掃作業 ･一般廃棄物の収集、運搬　･産業廃棄物の収集、運搬
許可一覧	一般廃棄物……伊丹市、西宮市 産業廃棄物……兵庫県、大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県、岡山県 特別管理産業廃棄物……兵庫県
グループ会社	株式会社 リヴァックス（兵庫県西宮市） 株式会社 リリーフ（兵庫県西宮市）
財務状況	財務諸表については、「産業廃棄物処理業者の優良性の判断にかかわる評価制度」に基づき、直近3年分の貸借対照表と損益計算表を産廃情報ネットに公開しています。
URL	http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/index_u2.php?UserID=03035

事業活動

グリストラップ清掃部門

ACTIVE CONDUCT OF BUSINESS.01

グリストラップ

近畿地区を中心に、飲食店や病院、工場、
学校施設などに設置されている、
グリストラップ（油水分離漕）、排水管等の緊急の
詰まり対応を含めた、清掃及び管理を行っております。
2013年度は、約3,500件の作業を行いました。

グリストラップとは油や残さが、直接下水に流れないようにせき止める設備です。これを定期的に清掃することで、水質環境の保全につながっております。

優良産廃処理業者認定

弊社は、グリストラップ清掃時に発生する
汚泥の処理など、産業廃棄物の収集運搬を行う
処理業者として、通常よりも厳しい基準をクリアし、
優良産廃処理業者として、認定を受けております。

お客様の声

貴社とのお付き合いは、関西地区の弊社店舗の排水管及びグリストラップの清掃管理をお願いし5年目になります。それ以前は、排管つまりのスポットが多発し弊社店舗にご来店されるお客様にご迷惑をおかけいたしておりましたが、貴社の前向きなご提案及び誠実な仕事の取り組み、きめ細かな対応に関して非常に満足のいくものでした。結果、現在はほとんど関西店舗でのスポット排管つまりが解消しております。コストの面からでも大きな利益貢献に値するものです。貴社の発展を願い、さらなる改善に取り組めるパートナーとして期待しております。今後とも、よろしくお願いいたします。

株式会社　どん
店舗開発部
建装メンテナンス　担当課長
酒井　晃様

廃棄物処理部門

ACTIVE CONDUCT OF BUSINESS.02

廃棄物処理

伊丹市･西宮市の一般廃棄物及び産業廃棄物の
収集運搬を、行政の許可を受け行っております。

家庭ごみの収集

伊丹市の委託を受け、家庭ごみの収集運搬を行っています。2014年3月現在、約78,815世帯（1世帯あたりの人口2.51人）のうち、燃やすごみ44.9%、燃やさないごみ･可燃大型ごみ68%、その他プラ40.1%の収集運搬を行っています。
2013年度は、15,313tの収集運搬を行いました。

産業廃棄物の収集

伊丹市内外の工場や病院等から出る産業廃棄物及び感染性廃棄物の収集運搬を行っております。
2013年度は2,619tの産業廃棄物、25tの感染性廃棄物の収集運搬を行いました。

事業ごみの収集

伊丹市内（一部西宮市を含む）の事業所（オフィス、飲食店、学校、病院、公共施設等）から出る一般廃棄物の収集運搬を行っております。2013年度は4,883tの一般廃棄物の収集運搬を行いました。

環境負荷の低減

環境活動への取り組みを強化し、削減目標のもと具体的な改善方法を提示し、実践しております。
今後も継続して、削減に向けて取り組んでいきたいと思います。

ENVIRONMENTAL LOADING REDUCTION.01

2013年度省エネルギー活動の結果

活動項目	電気の使用量削減（1時間あたり）	軽油の使用量削減（燃費）第1事業部	軽油の使用量削減（燃費）第2事業部	ガソリンの使用量削減	水の使用量削減	ガスの使用量削減	廃棄物の排出量削減	紙の使用量削減
目標値	6.83kWh/1h	3.13km/ℓ	5.86km/ℓ	（※）	（※）	（※）	（※）	（※）
実績（2013年度）	7.0kWh/1h（32,170kWh）	3.18km/ℓ	5.64km/ℓ	9,482.5ℓ	1,453㎥	221.4㎥	414.5kg	198kg
評価	×	○	×	（※）	（※）	（※）	（※）	（※）
参考実績（2010年度）	7.33kWh/1h（31,959kWh）	3.36km/ℓ	5.91km/ℓ	10,116ℓ	1,343㎥	94.9㎥	652kg	202.7kg
参考実績（2011年度）	6.62kWh/1h（29,377kWh）	3.13km/ℓ	5.96km/ℓ	11,738.03ℓ	1,256㎥	83.3㎥	535.5kg	208.25kg
参考実績（2012年度）	6.83kWh/1h（30,474kWh）	3.21km/ℓ	5.86km/ℓ	10,186ℓ	1,355㎥	202.6㎥	490.5kg	234kg

※軽油及び電気以外の目標値は、日々の取り組みの結果、弊社で可能なパフォーマンスの上限に達しましたので現状の維持に努めております。

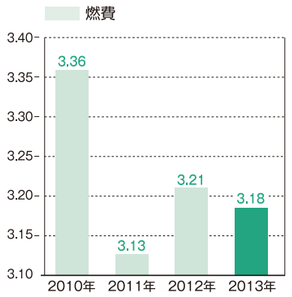
軽油の使用量削減

- エコドライブを徹底する。
- 各ドライバーに燃費を管理させ、意識強化をはかる。

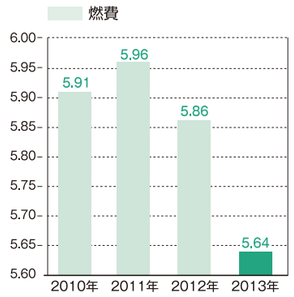
高圧車を使用した工場のピット清掃や、病院等の排管清掃が増加したのが一番の原因であると考えられます。

■第1事業部 ／ 廃棄物処理部門
■第2事業部 ／ グリストラップ清掃部門

軽油（燃費）第1事業部の使用量〔km/ℓ〕



軽油（燃費）第2事業部の使用量〔km/ℓ〕

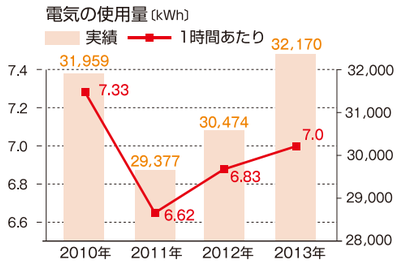


電気の使用量削減

- 事務所でのエアコン室温設定を夏期28℃、冬期23℃に設定。
- 「節電中」の張り紙を社内数カ所に貼り社員の意識強化をはかる。
- 自然光を活用し、日中の照明を抑える。

エアコンの老朽化により、使用時間を削減しても限界があったため、ハード面での取り組みが必要と考えられます。

電気の使用量〔kWh〕



ENVIRONMENTAL LOADING REDUCTION.02

廃棄物計量システムの活用

弊社では、ごみの重量を計測できる「スケールパッカー車」を導入しており、計測されたお客様ごとのごみ重量を、事務所内のパソコンで一元管理しております。このシステムの使用に伴い、お客様に対してごみ処理の透明性を確保できるとともに、ごみの減量を提案させていただくことが可能になりました。また、過積載の低減につながり、燃費の悪化防止及び安全走行に役立てております。

スケールパッカー車とは?

車輌にごみを積み込むだけで計量できることが特徴で、回収・計量の一連の作業をお客様と共にその場で確認することができます。

廃棄物計量システムの流れ

01 収集したごみの重量を測定

02 送信ボタンを押すと…

数字による「ごみの見える化」を図ります

03 携帯端末にデータを送信

04 お客様ごとにデータを一元管理しています

05 データによってごみ量（=経費）がわかり、ごみ減量への意識が高まる

ごみの減量＝経費削減

データ報告

重量による課金請求

環境マネジメント

ENVIRONMENTAL MANAGEMENT.01

ISO14001取得
（環境マネジメントシステム）

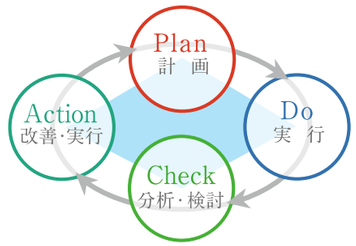
認証取得番号：
02006-2008-AE-KOB-RvA
初回認証日：
2008年1月18日
認証証明有効期限：
2017年1月18日

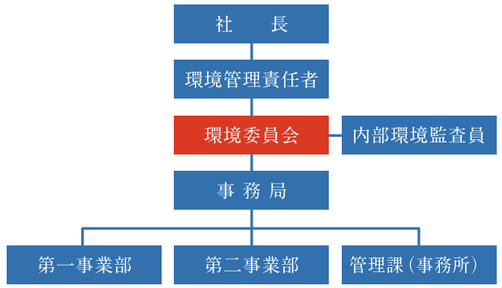
2008年1月、株式会社大協は、ISO14001（環境マネジメントシステム）を認証取得いたしました。一般廃棄物、産業廃棄物、特別管理産業廃棄物の収集運搬が環境に与える影響を認識し、これまで以上に地域社会の環境保全並びに循環型社会の構築に貢献していきます。

ENVIRONMENTAL MANAGEMENT.02

環境管理推進体制

弊社では、月に1度環境委員会を開催し、
環境マネジメントプログラムの進捗状況の確認や、
検証・見直し・是正を行っています。
さらに環境委員会の決定事項は、朝礼・終礼や
部門ミーティングを通し全社員に周知しております。





各種展示会への出展

多くの方に大協の取り組みを知っていただくため、
定期的に各種展示会へ出展しております。

第5回関西店舗環境改善展

2013年5月21日（火）～23日（木）
インテックス大阪

第3回 店舗環境改善展

2013年8月5日（月）～7日（水）
東京ビッグサイト

エコプロダクツ2013

2013年12月12日（木）～14日（土）
東京ビッグサイト

※グループ会社の株式会社リヴァックス並びに
株式会社リリーフとの共同出展

HCJ2014
第14回厨房設備機器展

2014年2月18日（火）～ 2月21日（金）
東京ビッグサイト

情報開示

DISCLOSURE OF INFORMATION.01

優良産廃処理業者認定制度への適合

2011年度に産業廃棄物処理業者の優良性評価制度が大幅に改定され、
新たに「優良産廃処理業者認定制度」が創設されました。
この基準は、既に継続して5年以上許可を受けていて下記の5項目を満たすものです。

01 従前の許可の有効期間において、事業停止命令などの不利益処分を受けていないこと。
02 法人に関する情報、事業計画の概要、施設及び処理の状況などをインターネットで公開し、一定頻度で更新していること。
03 ISO14001やエコアクション21等による認証を受けていること。
04 電子マニフェストの利用が可能であること。
05 直前3事業年度のうち、いずれかの事業年度における自己資本比率が10%以上であること、法人税等を滞納していないこと等、財務体制が健全であること。

弊社では、これらの基準を満たしている兵庫県及び大阪府において優良認定で適合を受けております。
なお、その他の都道府県については新規許可より5年経過していないため、次回更新時に申請予定です。

認定許可証

大阪府（2016.4.24）

兵庫県（2016.2.12）

兵庫県特管（2015.10.24）

優良さんぱいナビ

「優良さんぱいナビ」へも情報が記載されております。これは、優良産廃業者を、廃棄物の種類・エリア・処理方法などから探すことができる検索システムです。

詳しくはこちらから http://navi.ikashigen.go.jp/

産廃情報ネット

弊社公開情報

産廃情報ネット
www.sanpainet.or.jp

事故・苦情

2013年度、弊社において発生した事故・苦情を報告いたします。

事故報告

事故その1

内容：住宅密集地域の狭路で走行時に車輌の左側が軒先に接触、物損。

原因・反省点：通常より大きい車輌に乗っており、車幅、車高の確認、認識が甘かった。

改善　対策：道路の障害物の確認を行い、特に通常と違う車輌に乗る際には車幅、車高の確認を行う。

事故その2

内容：停留所から出てくるバスに道を譲るために停車した車に、後ろから追突。

原因・反省点：流れがよい道路状況で、油断による前方不注意と予測の不足。

改善　対策：前方の車との車間距離を十分にとり、「～かもしれない運転」を心がける。

事故その3

内容：回収場所へバックで入る際に車輌と接触。

原因・反省点：バックカメラでの確認漏れ及び、助手の誘導が無かった。

改善　対策：見通しが悪い場合は必ず助手の誘導で動き、さらにバックカメラでも二重の確認を行う。

事故その4

内容：交差点に進入時、一時不停止の車輌が弊社の車輌と接触。

原因・反省点：優先道路であっても、雨が降っている時などは、いつもより更に注意して走行するべきだった。

改善　対策：天候の悪い日などは特に、「～かもしれない運転」を心がける。

事故その5

内容：ゴミステーションで回収作業中、振り返った際に入口上部に頭を強打、裂傷。

原因・反省点：スピード優先で作業を行ったため、周りの状況確認を怠った。

改善　対策：同様の危険があるステーションの確認、社内で注意喚起を行った。

苦情報告

苦情その1

内容：回収車の走行が荒く、原付バイクで走行中に危険を感じた。

原因・反省点：ドライブレコーダーで確認したところ、法定速度内ではあったが、バイクや歩行者に対する配慮に欠けていた。

改善　対策：車輌が大きいことで相手に威圧感を与えてしまう可能性があることの再認識を社内全体で行った。

上記の通り、事故が5件、苦情が1件ございました。
発生時には、迅速に対応し、必ず全体朝礼などで社内に周知、改善を行っております。

環境活動にかかわる教育・訓練および環境監査①

教育および訓練には、環境一般教育と環境専門教育があり、それぞれにおいて次のような教育を実施しております。

EDUCATION AND TRAINING ENVIRONMENTAL INSPECTION.01

安全運転教育

今年度は2014年2月21日に、
伊丹警察交通課の方を講師にお招きし、
一般道路での安全運転について、安全運転に関する
DVDを鑑賞後、伊丹市における交通事故の
傾向についてお話をしていただきました。
受講したドライバーからは、

「社外でなおかつ警察の方による講習は、
身が引き締まった思いで集中して
話を聞くことができて良かった」

「毎日乗っていると、知らないうちに危険な運転に
なっていることがある。このような講習会を
定期的に行うことで、気づかせてもらえるので
今後も行ったほうがよい」

という声が聞かれました。

EDUCATION AND TRAINING ENVIRONMENTAL INSPECTION.02

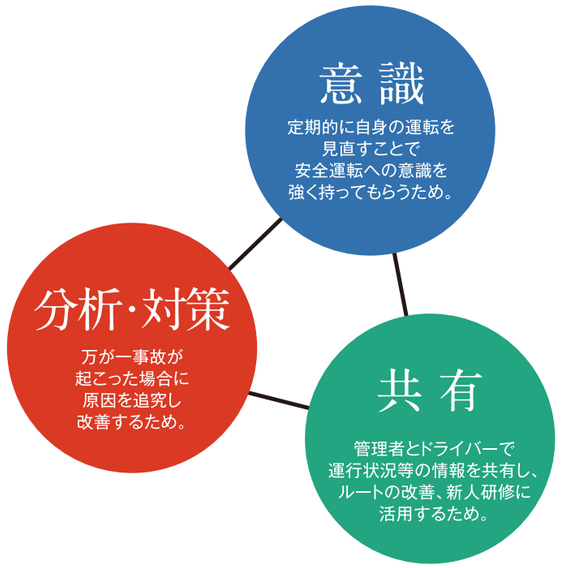
アルコールチェッカー

ドライバーは、毎日の業務開始前及び、終了後に必ずアルコールチェッカーにて
体内にアルコールが残っていないか確認を行っています。

EDUCATION AND TRAINING ENVIRONMENTAL INSPECTION.03

ドライブレコーダー

ドライバー自身が、安全運転に対して常に高い意識を持つことで、
自ら考え行動し、高い運転スキルを身に付けることができる環境を目指します。

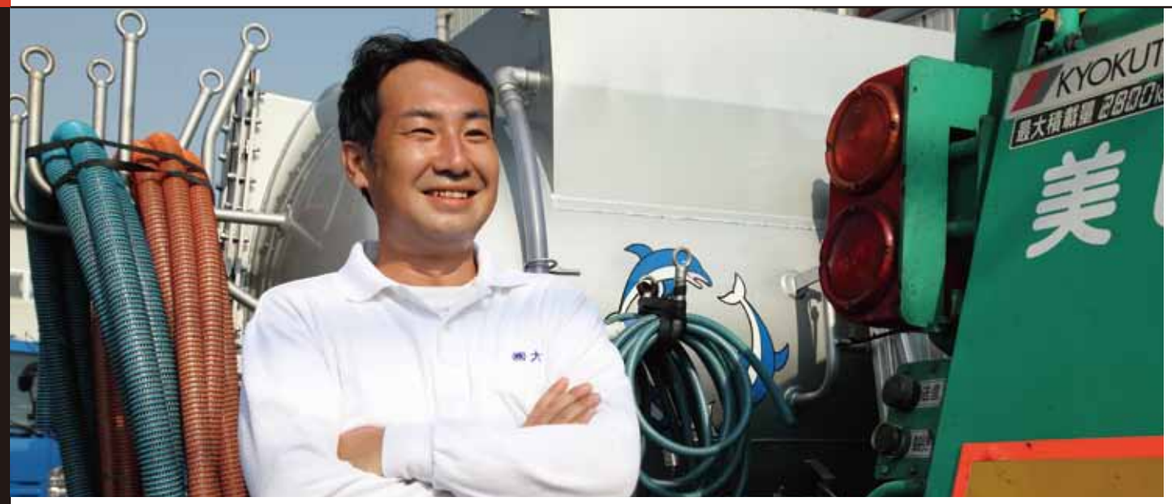


弊社では走行映像の録画、走行データの分析ができる
ドライブレコーダーを全車輌に設置しております。

導入後の成果

安全教育や改善指導を行う際に、実際の
走行映像を見ることで、口頭や資料で
説明するよりもリアルに、そして明確に伝えることができ、
社内での共有にも役立っております。

環境活動にかかわる教育・訓練および環境監査②



EDUCATION AND TRAINING ENVIRONMENTAL INSPECTION.04

環境一般教育

毎月1回（環境委員会後）各部門において環境ミーティングを実施しております。このミーティングでは、環境委員会での決定事項の周知や環境活動の進捗状況の報告、環境方針の再確認の場として各自の環境に対する意識を高める場として活用しております。また、新入社員（アルバイトを含む）においても環境教育を実施し、入社時から環境意識の向上を目指しております。

EDUCATION AND TRAINING ENVIRONMENTAL INSPECTION.05

資格の取得

弊社ではサービス品質の向上と、作業現場での安全を確保するため、各種資格の取得を推進しております。

- ·排水管洗浄作業監督者……2名
- ·危険物取り扱い者……2名
- ·酸素欠乏·硫化水素危険作業主任者……6名
- ·産業廃棄物処理許可取得者……2名
- ·衛生管理者……1名
- ·酸素欠乏危険作業主任者……2名

弊社が順守すべき環境関連法の主なものを、下記に抜粋しました。

- ●廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）
- ●道路交通法
- ●道路運送車両法
- ●消防法
- ●自動車から排出される窒素酸化物と粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法（自動車Nox·PM法）
- ●大阪府生活環境の保全に関する条例（2009年1月施行）対策地域を発地又は着地として車種規制適合車等の運行を行うものは、当該車種規制適合車等に、規則で定める標章（以下「適合車等標章」という）を規則で定めるところにより表示しなければならない。基準値は自動車Nox·PM法と同じ　〔対象地区：能勢町·豊能町·岬町·太子町·河南町·千早赤阪村を除く地域〕

EDUCATION AND TRAINING ENVIRONMENTAL INSPECTION.06

緊急事態対応訓練の実施

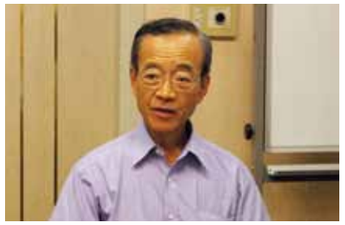
現場では車両の横転事故を想定しての対処法、事務所では火災発生時の通報訓練等、
手順書通りに行えるかを確認する場として、年に1回緊急事態対応訓練を実施しております。

EDUCATION AND TRAINING ENVIRONMENTAL INSPECTION.07

外部監査

2013年11月21日と22日の2日間、認証期間DNVによる2回目の更新監査を行い、その結果、
軽微な不適合1件、改善の機会7件の指摘を受け、
12月30日に是正処置を確認していただいております。

環境報告書へのコメント（第3者審査機関の監査員の立場から）



DNVGLビジネス·アシュアランス·ジャパン株式会社
主任監査員 神田 喜代一様

私は、第3者審査機関の監査員として御社のシステム監査を担当させていただいた観点から下記のコメントをさせていただきます。

昨年の監査時点では、経営として“委託事業はできる限り維持しながら、グリストラップ清掃関連業務を拡大して、事業の成長”を図っておられることがわかりました。従って、事業転換時に欠かせないために昨年以降、教育訓練&OJTを行っておられました。コメントとして、教育訓練（OJT）プロセスの充実を図られることが必要と思われ、このプロセスについて触れておきたいと思います。

教育訓練（OJT）プロセス

すなわち、担当者の業務遂行上のスキル評価での課題を見つけ出し、その課題を教育訓練&OJT計画に反映させ、実施し、教育訓練（OJT）記録から個人ごとの問題点を把握した上で、再度担当者の業務遂行上のスキルを再評価をし、課題を見つけ出して、P-D-C-Aサイクルを回すこと（スパイラルアップすること）で、担当者のスキルが向上し、個人スキルの向上とともに組織のスキルも向上していくと思われます。老婆心で申し上げましたが、ご活躍を祈念申し上げます。

コミュニケーション①

COMMUNICATION.01

社員と家族とのコミュニケーション

NPO法人こども環境活動支援協会
LEAFの保有する農地で、春には田植え、
秋には収穫体験を通じ
社員やその家族との交流を図っています。

田植え&
収穫体験

COMMUNICATION.02

ソフトボール大会への参加

地域の方々との繋がりを大切にしたいという思いから、地域主催のイベントには積極的に参加して参りました。
2013年度は5月12日に、伊丹市商工労働課主催のソフトボール大会に参加させていただきました。

COMMUNICATION.03

環境教育のお手伝い

2013年度も伊丹市内の小学校にサツマイモの苗を寄贈させていただきました。この取り組みは小学校での栽培活動を通じて、環境教育や食育にご活用いただければと実施しております。
今年度は、15校に1,327苗を配布させていただきました。また、秋の収穫を終えた子供たちからたくさんのお礼のお手紙を頂きました。この「サツマイモ苗」は、環境教育活動を行っているNPO法人こども環境活動支援協会LEAFが西宮市の甲山周辺の落ち葉で作った堆肥をもとに育苗したもので、自然界の循環のしくみを理解していただきながらサツマイモを育てていただくことをねらいとしています。資源循環を大切にするこうした考えは、弊社の事業理念とも合致していると考えております。

寄贈させていただいた
苗を校庭に植える
子ども達

子ども達
からの
お礼の手紙

COMMUNICATION.04

清掃活動

弊社がある伊丹工業団地内の清掃活動及び、JR線路沿いの草抜きを毎週水曜日の朝に実施しております。
また、7月には自治会主催の市内一斉清掃（駄六川の清掃）に参加させていただきました。

コミュニケーション②

COMMUNICATION.05

インターンシップ

昨年から、次世代を担う若者が「働くこと」の大変さや楽しさを知ることで、将来に役立ててもらうことを目的にインターンシップの受け入れを行っております。
昨年同様、交流を深めながら、学生ならではの視点などに、弊社社員も刺激を受け、有意義な時間を過ごすことができました。今後も継続していきたいと考えております。

インターンシップに参加された学生のお手紙

COMMUNICATION.06

社員表彰

日々業務に尽力していただいている社員へ敬意を表し、本年度は下記の表彰を行いました。

【永年勤続表彰】
・勤続20年……3名

COMMUNICATION.07

セーリングチーム

弊社には、セーリング部「Team REVACS」がございます。
よりよい成績が残せるよう、グループ会社をあげて応援しています。

【成績】
・2013年8月3日、4日
関西スナイプ選手権大会　7位

・2013年10月27日
兵庫県　第3回ポイントレース　1位

・2013年11月12日～17日
全日本スナイプ選手権大会　34位

【メンバー】
監督／津田 政房（大協 グリストラップ事業部 課長）
選手／田辺 領（大協 グリストラップ事業部）
選手／森谷 幸雄（リヴァックス 業務課）

Team REVACS

私が監督の津田です

コミュニケーション③

COMMUNICATION.08

大協マガジン（メルマガ）の発行

毎月第2水曜日に、排出事業者様の実務に関係する廃棄物関連の法律の動向や
自治体・行政の取り組み等について情報を集約し、お届けさせていただいております。
配信をご希望の方はお気軽にお問い合わせください。

COMMUNICATION.09

いたみ災害サポート登録制度

弊社では地域に密着した会社でありたいという思いから、事業活動である廃棄物の収集運搬を通じて地域に貢献していきたいと考えております。
その一環といたしまして、伊丹市の「いたみ災害サポート登録制度」に登録しております。

「いたみ災害サポート登録制度」とは?

災害発生時の活動は、主に市などの防災機関により実施されますが、発生初期にはライフラインや道路などの様々な機能が麻痺・寸断され、迅速な救助・救援活動が困難となることが想定されます。そのため、市からの災害活動が実施されるまでの発生初期には、地域での「自助」・「共助」が、被害軽減、早期復旧には欠かせないものとなります。
そこで、地域に密着した事業所等の持つ人材や資機材、技術などの協力により、共助体制の強化を図り、災害時の被害を軽減することを目的としています。

COMMUNICATION.10

東日本大震災復興支援型国内クレジットを採用しています。

「東日本大震災復興支援型国内クレジット」とは国内クレジット制度の一つで、経済産業省の委託事業として一般社団法人日本カーボンオフセット（COJ）のパートナー企業である株式会社イースクエアが運営管理するものです。全国各地の自治体や医療・福祉法人、一次産業事業者等を対象として、地域におけるCO_2排出削減事業の立ち上げと、地域活性化の支援を目的として、全国的に展開したCO_2排出削減事業です。このクレジットでは、排出削減事業者が、国内クレジットの売却代金の一部を東日本大震災被災地3県の自治体へ寄付を行なうことで、更に復興支援にも繋げる仕組みです。

COMMUNICATION.11

環境報告書の発刊

地域社会の皆様やお客様に弊社を理解していただきたいと思い、
2008年より報告書を社員の手で作成しております。
社会の信頼を得る事業者として弊社の取り組みや情報を分かりやすく、正確に提供していきます。

弊社ホームページからもご覧いただけます▶
http://www.d-aikyo.co.jp

■『環境報告書2014』環境配慮への取り組み

データ入稿・PDF校正を実施

原稿の入稿や校正作業はできる限りデータでのやりとりとし、省資源・省電力化に努めました。

水なし印刷

印刷工程において、有害物質を含む湿し水を使わず、刷版制作工程では、有害な廃液が発生しない「環境に配慮した」印刷方式を採用しました。

カーボンオフセット

印刷物のCO_2計算ソフト「PGG-CLOUD」を用いて算出したCO_2排出量は、同等量以上の排出権を購入し、これとオフセット（相殺）することにより、CO_2排出量をゼロとすることができます。

■本報告書は水なし印刷で印刷し、カーボンオフセットしています。

A4版全24ページ
中綴じ製本　2,000部製作

本報告書のシステムバウンダリにおけるCO_2排出量は1部あたり497gで、一般社団法人日本WPAと一般社団法人日本カーボンオフセットを通じてカーボンオフセットしました。

① 印刷に関わった全てのCO2排出量をオフセット（相殺）します。
② 国内クレジット制度を活用し、地域経済の活性化に貢献します。
③ 国内クレジット代金の一部（1トンにつき750円）が、排出削減事業者から被災地へ寄付されます。

Carbon Offset for 497g-CO2/copy
Waterless Printing. Naturally.
W02
がんばろう日本！

編集後記

この度は「環境報告書2014」をご覧いただき、ありがとうございます。
今年は弊社の財産でもある、「人」が多く出演することで、事業内容、取り組みはもちろん、会社の雰囲気が伝わり、大協に親しみを持っていただきたいという想いをこめ作成いたしました。
今後も内容の充実を図り、お客様、地域の皆様に愛される会社になるよう努めてまいりますので、ご覧いただいた皆様には、ご意見、ご感想をお寄せいただけると幸いでございます。
最後になりましたが、本報告書の作成にあたり、ご協力いただきました皆様に厚く御礼を申し上げます。

2014年　株式会社　大協　ＩSO事務局